

平成 30 年 4 月 27 日

生命環境学部 生命科学科
教授 荻田 信二郎

平成 30 年度県立広島大学地域戦略協働プロジェクト
(野草等の地域資源を活用した入浴剤の開発研究)

活動報告

本プロジェクトは、作木町香淀にある「江の川カヌー公園さくぎ」の附属施設である入浴施設の魅力を高めるための施策（主に入浴剤の開発）を行うことを目的として 4 月より活動を開始しました。この度、入浴施設が完成しましたので、プロジェクトに対する学生参画状況について報告致します。

日時：平成 30 年 4 月 22 日（日）

場所：江の川カヌー公園さくぎ 入浴施設

内容：オープン記念式典ならびに施設内での入浴剤等の実証試験開始

2018 年 4 月 22 日（日）10 時に開催されたオープン記念式典を経て、江の川カヌー公園さくぎ敷地内に入浴施設「くまみ湯」がオープンしました。当日の中国新聞でも紹介されています。

前日まで本研究プロジェクトの成果物である地域山野草由来の芳香エキスを活用したディスプレイ（地元山野草を用いたコケ球、タケを用いた花器、木炭を用いた芳香剤など）や入浴剤を施設内に配置して 準備を重ねました。

当日は三次市市長や市議会議長、自治連合会長をはじめ、地域の関係各位が出席した記念式典に、荻田研究室の大学院生 3 名も出席させていただきました。

その後の内覧会から、学生も手伝いながらアンケート調査も実施しました。今後も継続した研究・調査に取り組んでいきます。



お手製の苔玉、香りに移した木炭や芳香用エキスです。



くまみの湯入り口にて 留学生、修士学生と



クマのキャラクターとオープン記念の垂れ幕



式典会場横でアンケート回収の対応をしている学生